

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除所長

平成 1 6 年度病害虫発生予察注意報第 2 号について

平成 1 6 年度病害虫発生予察注意報第 2 号を発表したので送付します。

平成 1 6 年度病害虫発生予察注意報第 2 号

平成 1 6 年 6 月 1 7 日

宮 崎 県

病害虫名 斑点米カメムシ類
作物名 早期水稲

1 . 注意報の内容

- 1) 発生地域 : 早期水稲栽培地帯
- 2) 発生程度 : やや多

2 . 注意報の根拠

- 1) 6 月上旬の水田周辺におけるイタリアンライグラスほ場での生息密度は表 - 1 のとおり全般的に高く、地域によって特に高いほ場も見られる。
- 2) 斑点米産出能力の高いミナミアオカメムシ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、シラホシカメムシの密度が高く、またアカスジカスミカメもかなり多くみられ警戒が必要である。
- 3) 6 月中旬の県内巡回調査において、本田への飛来が多数確認されている。
- 4) 気象 1 ヶ月予報によると 6 月の気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は平年並か平年より多いと予想されており(鹿児島地方気象台 6 月 1 1 日発表 1 ヶ月予報)、斑点米カメムシ類の活動に好適である考えられる。

3 . 防除対策

- 1) 本虫による被害は品質を著しく低下させ等級格下げの重要な要因になるので、穂揃期とその 7 ~ 10 日後の 2 回防除を行う。高密度の場合はさらに追加防除が必要である。
- 2) 葉いもちの発生が増加傾向にあるため、発生地域では穂いもちとの同時防除剤の使用が効果的である。
- 3) 本虫は移動性の強い害虫であり、広域の集団一斉防除に努め防除効率を高める。
- 4) 地域内で出穂の早い水田には集中的に飛来する恐れがあるので注意する。
- 5) 雨が多い時は雨間散布を行い、防除適期を失しないようにする。
- 6) 薬剤等その他の詳細については、関係機関に照会すること。

表 - 1 斑点米カメムシ類の生息密度(県内平均)

本 年	前 年	平 年 値
17.2	5.9	12.3

調査はイタリアンライグラスほ場の 20 回振りすくい取り虫数
数値はミナミアオカメムシ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、シラホシカメムシ
4 種合計の平均値

【連絡先】

病害虫防除所 担当：松井

TEL：0985(73)6670

FAX：0985(73)7499